

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援チャオ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月13日		～ 令和6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和6年12月13日		～ 令和6年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者(保護者)に寄り添った支援	送迎時や日々の連絡帳などで保護者や利用者の状況を把握すること。	今までやっていることを継続していくこと。
2	職員間の話し合いが毎日のように行われていること。	アプリで情報を共有することで漏れがないよう心がけている。	漏れないように通知機能を使用したり日々職員同士で会話していくこと。
3	様々な活動や経験の場を作っていること。	意識的に園外活動を多く取り入れ様々な体験を子どもたちとすることで、楽しみながら人生の経験値を増やすこと。	職員が楽しむ姿を今まで以上に見せることで、子どもが感情を共有したり充実感を味わうことができるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動場がないこと。	ビル内には他のテナントも入っているため、場所の確保が難しい。	室内でできる運動や公園に行き活動を行う。
2	地域交流が少ない。	療育時間内で交流できる場所や機会が中々ない。	休日でイベントを行えるのか具体的に検討する必要がある。放課後との兼ね合いもあるので、現実的には難しいのではないかと感じる。
3			